

2024年10月25日  
西日本旅客鉄道株式会社

## ～駅のホームの安全性向上にむけて～

### ホーム柵の使用開始について（2024年度下期）

JR西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を進めており、2024年度下期にホーム柵を使用開始する駅及び時期が決まりましたので、お知らせします。

#### 1. ホーム柵の使用開始

| 線区名   | 駅名  | のりば   | 形式  | 使用開始時期         |
|-------|-----|-------|-----|----------------|
| 大阪環状線 | 弁天町 | 2番のりば | 可動式 | 2024年11月5日始発から |
| 大阪環状線 | 西九条 | 2番のりば | 可動式 | 2024年12月上旬     |
| 大阪環状線 | 西九条 | 3番のりば | 可動式 | 2025年2月下旬      |

※上記の使用開始に伴い、西九条駅及び弁天町駅の全のりばでホーム柵の設置が完了します。

※使用開始時期は、工事の進捗状況により変更することがあります。決まり次第、当該駅にてお知らせします。

※ホーム柵の使用開始に合わせ、323系（主に普通列車）の車両を対象に1号車3番ドア、5号車・8号車の1番ドアの乗降口で段差・隙間を縮小します。

詳細は、大阪環状線・JRゆめ咲線においてホームと車両の段差・隙間縮小を展開していきます（2024年3月14日ニュースリリース）をご確認ください。

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page\\_24780.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24780.html)

#### 2. ホーム柵の整備着手

| 線区名   | 駅名  | のりば     | 形式  | 整備着手時期     | 使用開始時期 |
|-------|-----|---------|-----|------------|--------|
| JR東西線 | 新福島 | 1・2番のりば | 可動式 | 2024年11月下旬 | 2026年度 |

※使用開始時期は工事の進捗状況により変更することがあります。

(参考)

- ・ 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用してバリアフリー設備の整備を加速してまいります  
(2022年8月19日ニュースリリース)

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page\\_20617.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html)

- ・ 鉄道駅バリアフリー料金制度に関する整備等計画の変更について  
(2024年3月27日ニュースリリース)

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page\\_24888.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24888.html)

- ・ 鉄道駅バリアフリー料金制度に関するバリアフリー設備の整備進捗状況について  
(2024年6月28日ニュースリリース)

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/06/page\\_25476.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/06/page_25476.html)

- ・ 西九条駅・弁天町駅の全のりばに「改良型可動式ホーム柵」を設置します  
(2023年3月3日ニュースリリース)

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2023/03/page\\_22027.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2023/03/page_22027.html)

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

